

カルホス® 微粒剤F

(KARPHOS MGF)

登録番号 第13873号

種類名 イソキサチオン粉粒剤
isoxathion性状 類白色微粒および粗粉 63～212 μ m

有効年限 5年

有効成分 イソキサチオン 3.0%

P R T R イソキサチオン(PRTR・1種) 3.0%

毒性 医薬用外劇物

包装 3kg×8袋

■特 長

1. 広い殺虫スペクトラムを持つ殺虫剤で、活性持続効果が優れています。
2. 地下部を加害する土壌害虫（ネキリムシ類、コガネムシ類幼虫、タネバエ、ハリガネムシ）に優れた効果を示します。
3. 悪臭や刺激性がなく、使いやすい薬剤です。

■適用害虫名及び使用方法

(2016年12月14日現在)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数	使用方法
りんご	モモシンクイガ	5kg/10a	夏繭営繭時～第一世代成虫羽化期	4回以内	4回以内	地表面散布
キャベツ はくさい レタス 非結球レタス わけぎ あさつき	ネキリムシ類	6kg/10a	は種時 または植付時	1回	1回	土壌表面散布 土壌混和处理
ねぎ			は種時	1回	4回以内 〔は種時は1回以内、 植付時は1回以内、 植付後は2回以内〕	
			植付時	1回		
だいこん			は種時～生育初期 ただし、 収穫30日前まで			
しゅんぎく ほうきぎ			定植時	1回	1回	作条処理土壌混和 株元散布
ほうれんそう	タネバエ		は種時			作条処理土壌混和
かぼちゃ すいか	ネキリムシ類	株当たり 3g	定植時			植穴処理土壌混和
だいず	タネバエ		は種時	2回以内	2回以内	
			は種時 または定植時			
えだまめ	ネキリムシ類	6kg/10a	定植時	1回	5回以内 〔粉剤および粉粒剤の は種時の処理は 合計1回以内、 粉剤および粉粒剤 の定植時は 合計1回以内、 粉剤の土壌表面散布 は1回以内、 粒剤の土壌表面株元 処理は2回以内〕	土壌表面散布 土壌混和处理
	タネバエ ネキリムシ類		は種時	1回		

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数	使用方法
もりあざみ	ネキリムシ類	6kg/10a	収穫21日前まで	1 回	1 回	土壌表面散布 土壌混和处理
エンダイブ 食用ぎく			定植時			
いちご (仮植床)	コガネムシ類幼虫	9kg/10a	植付時		2回以内	
たばこ	ネキリムシ類 ハリガネムシ	6～9kg/10a	植付前		1 回	作条処理土壌混和
花き類・ 観葉植物	カブラヤガ	6kg/10a	定植時			

△ 効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
2. りんごのモモシクイガに対する地表面散布に際しては、次の事項に注意してください。
 - (1) 地表面散布は害虫の密度低下を目的としたものであるため、この散布だけで常に十分な防除効果を期待することはできません。したがって、必ずシクイムシ防除剤による樹上散布を併用して防除してください。
 - (2) 散布は地表面に均一にしていねいに行い、土壌と混和しないでください。
 - (3) 散布時期を誤ると効果が減じるので発生予察に注意し、時期を誤らないようにしてください。夏マユの営繭時から成虫羽化初期が散布適期です（おおむね6月中旬～7月）。なお、散布時期については病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
3. たばこの作条処理の場合は、植付ける作条になるべく幅広く散布し、土壌とよく混和してください。植穴処理はさけてください。
4. キャベツ、だいずを使用する場合は、植溝または播溝になるべく幅広く散布し、土壌とよく混和してください。植穴または播穴施用はさけてください。
5. いちごに使用する場合は、仮植床全面に均一に散布して表土とよく混和してください。
6. つまみ菜・間引き菜には使用しないでください。
7. 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
8. ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
9. 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意 

10. 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
11. 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

治療法：本剤の解毒剤としては、硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されています。

水産動植物への影響：水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密栓し、火気をさけ、食品と区別して、直射日光の当たらない冷涼な所に、カギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤などで消火に努めてください。
- 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収してください。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。